

ワンダースクール2020

プログラムマニュアル

今年のワンダースクールプログラムはCOVID-19感染防止を最優先に、飛沫と接触を避けるため、野外でのプログラム、グループワーク以外の個人でできるプログラムに絞って提供いたします。また、プログラムの実施においては「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』」（文部科学省・5月22日）に沿って運営いたします。さらに、道具を共有しての接触感染を防ぐため、必要な道具など（子どもたちと何が必要かを考えて学校で用意してください）は学校で準備し、個人での使用を原則としてお持ちください。

そこで、今年のプログラムは名称は例年と同じですが、進め方や準備が違います。以下のマニュアルをお読みいただいてご準備をお願いします。

また、どのプログラムも決まった答えはありません。発見していくプロセスを大切に、その時の気持ちに共感して受け止め、間違いは自分で気づけるように問いかけしながら一緒に新たな解決を探していくような学びになればと思います。

* ご不明な点はメール(tectec_ee@yahoo.co.jp)またはお電話(0133-22-4305)でお問い合わせください。

森でビンゴ

時間	1時間～1時間30分	人数	最大1クラス	時期	いつでも
活動場所	案内所前多目的広場 (芝生広場)	持ち物	ビンゴカード、筆記用具、帽子、水筒、タオル 長袖・長ズボン、丈の長い靴下、マスク、天候にあわせて雨具などをご用意ください。		
集合場所	森林学習センター前、または案内所前多目的広場				

概要

道民の森に来る前に、森の中で見つけたりそうなものを考え、全員がオリジナルのビンゴカードを作ります。キーワードは「手より大きな葉っぱ」「生き物の巣」など注意深く見ながら探すものや、「ツルツルしたもの」「冷たいもの」といった五感で感じるものなどです。自分で作ったビンゴカードを持ち、多目的広場を自由に歩きながら見つけてゆきます。見つければ自分でチェックをします。最後にビンゴができた数を発表します。その後、課題を見つける中感じたことなどのふりかえりを行います。

* **雨の場合**：ひどい雨でなければ傘をさして活動します。雨具を必ず用意してください。

プログラムの流れ

1 事前学習

- ①学校で一人ひとりのビンゴカードを作ります。（右の見本を参考にしてください。）
*右のワークシートが必要な場合はご連絡ください。改めてPDFファイルをお送りします。
- ②ビンゴカードのマスに道民の森で見つかりそうなものを考えて書き込みます。ポイントは森をイメージして、見つかるものを考えるということです。
- ③出来上がったビンゴカードを厚紙に貼り付けたり、宿泊学習のしおりに挟み込んだり、当日チェックしやすいようにしてください。



2 当日

- ①ガイドラインに沿って集合してください。森林学習センター、または多目的広場での集合となります。
- ②集合では全員で集まることはせず、2つのグループに分かれて集まってください。集合時点でのフィジカルディスタンスを守ってください。
- ③各グループにリーダーが挨拶をして、プログラムがスタートです。その後、森林学習センターで集合した場合は、多目的広場まで移動しての活動となります。
- ④プログラムは個人での活動となります。多目的広場を自由に歩きながらビンゴの課題を見つけてゆきます。この時、フィジカルディスタンスを意識してマスクを着けて活動してください。
- ⑤ビンゴカードに書かれた課題が見つければ自分でチェックをつけます。（人との相談はできません）
- ⑥時間がきたらフィジカルディスタンスを取りながらグループに分かれて集まりふりかえりを行います。
- ⑦全員が発表したところで終了。森林学習センターまで移動します。
*課題などによって時間のバラつきがありますので、早く終わったときは自由に過ごしてください。

森の俳句ハイク

時間	1 時間～	人数	最大 1 クラス	時期	いつでも
活動場所	案内所前多目的広場 (芝生広場)	持ち物	しおりに俳句が書けるページをご用意ください。もしくは、俳句を書く短冊を一人ひとりが用意してください。(厚紙や段ボールで作れます。) 帽子、水筒、タオル、長袖・長ズボン、マスク、丈の長い靴下、天候にあわせて雨具などをご用意ください。		
集合場所	森林学習センター前、または案内所前多目的広場				

概要

森で感じたことを俳句にしてみます。約束事は 5・7・5 だけ。字余り字足らずは気にしない。自然と向き合い、自分の言葉で表現します。最後にみんなで輪になって、出来た詩を発表します。

*** 雨の場合：**ひどい雨でなければ傘をさして近く活動します。雨具を必ず用意してください。

プログラムの流れ

1 当日

- ①ガイドラインに沿って集合してください。森林学習センター、または多目的広場での集合となります。
- ②集合では全員で集まることはせず、2つのグループに分かれて集まってください。集合時点でのフィジカルディスタンスを守ってください。
- ③各グループにリーダーが挨拶をして、プログラムがスタートです。その後、森林学習センターで集合した場合は、多目的広場まで移動しての活動となります。
- ④プログラムは個人での活動となります。多目的広場の中でお気に入りの場所を見つけ俳句を読みます。
- ⑤時間になるとグループごとに集まり、俳句の発表を行います。
- ⑥全員が発表したところで終了。森林学習センターまで移動します。

* 課題などによって時間のバラつきがありますので、早く終わったときは自由に過ごしてください。

森の長老ミズナラ

時間	往復45分ほど	人数	1グループ 7～8人程度	時期	いつでも
活動 場所	案内所からミズナラまで	持ち物	履き慣れた靴、帽子、水筒、タオル、長袖・長ズボン、丈の長い靴下、マスク、天候にあわせて雨具をご用意ください。		
集合 場所	森林学習センター前、または案内所前多目的広場				

概要

案内所から山道を登ると、樹齢450年のミズナラの木が見えてきます。大きさやその歴史を感じてみます。

***雨の場合：**雷の心配がなく、ひどい雨でなければ雨具を着用して行きます。雨の場合は車道を通してミズナラまでゆきます。雨具を必ず用意してください。

プログラムの流れ

1 当日

- ①ガイドラインに沿って集合してください。
- ②全員で集まることはせず、グループに分かれて集まってください。集合時点でのフィジカルディスタンスを守ってください。
- ③各グループにリーダーが挨拶をして、プログラムがスタートです。
- ④複数のグループの場合、各グループがミズナラのところで重ならないように、時間をずらして出発します。（全体で必ず一人の先生がついてください。）
- ⑤歩く前にマスクを外し、話をしないようにミズナラまで行きます。
- ⑥ミズナラに着いたら休憩しましょう。水分補給をして、フィジカルディスタンスを守って休憩します。休憩中はマスクを着用してください。
- ⑦5分ほど休憩ののち、ミズナラを出発して案内所前まで来た時と違う道で帰ります。
- ⑧案内所前に戻ってきたところで解散して終了です。

ワンダースクールチャレンジ

時間	自由	人数	1グループ 7～8人程度	時期	いつでも
活動 場所	案内所前案内所前多目的広場 (芝生広場) 広場	持ち物	チャレンジ25ワークシート(人数分を学校でご用意 ください)、必要なら課題を行う道具、水筒、帽 子、長袖・長ズボン、丈の長い靴下、マスク、雨 具		
集合 場所	森林学習センター前、または 案内所前多目的広場				

概要

事前学習として一人ひとりが25のチャレンジの中から「面白そう!」「やってみたい」と思う課題を見つけます。見つからなかったら、森の中でチャレンジしてみたいことを先生と相談して考えてみても構いません。決してこの25の課題にこだわる必要はありません。ポイントは、子どもたちがやってみたいと思えるような課題を見つけることです。ただし、宿泊学習のテーマや目当てにかなっているかどうかはご判断ください。

課題が決まったら必要な道具があるかどうかを考え、道具が必要な場合は自分で調べたり、先生と相談しながら準備をしてください。(基本的に道具が必要でない活動となっています。) 森にあるものはそのまま使ってください。例えば、「木の高さを測ってみたい」という子どもがいる場合は、道具が必要になります。何があると計れるかを考えて持ってきてください。

(私たちNPO法人TECが緊急事態宣言中に家庭でできる野外で算数チャレンジ25という課題に対して全国のいくつかの家庭で行われた様子が以下のFacebookで見ることができます。写真もありますので、雰囲気をつかんでいただけるとと思います。)

<https://www.facebook.com/groups/546902869303709>

雨の場合：ひどい雨でなければ雨具を着用して野外で実施します。雨具を必ず用意してください。

プログラムの流れ

1 事前学習

- ①学校でひとり一枚ワンダースクールチャレンジ25ワークシートを配布してください。

* 右のワークシートが必要な場合はご連絡ください。
改めてPDFファイルをお送りします。

- ②25のチャレンジの中から「面白そう!」「やってみたい」と思う課題を見つけます。もしくは、見つからなかったら、森の中でチャレンジしてみたいことを先生と相談して考えてみても構いません。決してこの25の課題にこだわる必要はありません。ポイントは、子どもたちがやってみたいと思えるような課題を見つけることです。ただし、宿泊学習のテーマや目当てにかなっているかどうかはご判断ください。

- ③課題が決まったら必要な道具があるかどうかを考え、道具が必要な場合は自分で調べたり、先生と相談しながら準備をして、当日お持ちください。



2 当日

- ①ガイドラインに沿って集合してください。森林学習センター、または多目的広場での集合となります。
- ②集合では全員で集まることはせず、2つのグループに分かれて集まってください。集合時点でのフィジカルディスタンスを守ってください。
- ③各グループにリーダーが挨拶をして、プログラムがスタートです。
- ④案内所前の多目的広場で課題ができる場所を見つけて各自がフィジカルディスタンスを守って活動します。
- ⑤活動でわからないことがあればリーダーや先生に相談しながら行います。
- ⑥時間が来たら集合し、やってみた課題と感想を発表して終了です。

やってみよう！野外で英語

時間	自由	人数	1グループ 7～8人程度	時期	いつでも
活動 場所	案内所前多目的広場 (芝生広場)	持ち物	ワークシート(人数分を学校でご用意ください)水筒、帽子、長袖・長ズボン、丈の長い靴下、マスク、雨具		
集合 場所	森林学習センター前、または案内所前多目的広場				

概要

学校で習っている英語を自然の中で身体を動かし、五感で感じながら学んでみましょう。

ワークシートはA4サイズ以上で印刷（もしくは、マーカーなどで作ってください）し、一人ひとりに一枚のワークシートを配布してください。それぞれのアルファベットが頭文字のものを自然の中から探します。（AならAnts、Airなど名詞、形容詞問わず“A”が頭文字ならどんなものでもOKです）見つけたら、持って来れるものだと持ってきてシートの上に乗せてゆきます。持ってこれないものはマスに書き込みます。分からなければ先生やリーダーに相談してください。（英語の教科書を持ってきてもいいですよ）26コ全部見つけれられるかチャレンジ！

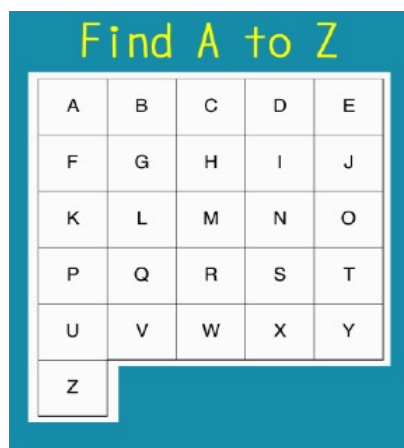
* ワークシートが必要な場合はご連絡ください。改めてPDFファイルをお送りします。

* **雨の場合**：ひどい雨でなければ雨具を着用して野外で実施します。

雨具を必ず用意してください。

プログラムの流れ

- ①ガイドラインに沿って集合してください。
- ②全員で集まることはせず、グループに分かれて集まってください。集合時点でのフィジカルディスタンスを守ってください。
- ③各グループにリーダーが挨拶をして、プログラムがスタートです。
- ④案内所前の多目的広場で課題ができる場所を見つけて各自がフィジカルディスタンスを守り、学校で準備したワークシートを使って活動します。
- ⑤活動でわからないことがあればリーダーや先生に相談しながら行います。
- ⑥時間が来たら集合し、見つけたものを発表します。（それぞれのワークシoppを見に行きます）



雨プログラム

「森は、雨が降るととりわけ生き生きとして鮮やかに美しくなります。」とレイチェルカーソンは著書「センス・オブ・ワンダー」に書きました。雨具を用意して「森でビンゴ」や「森の俳句ハイク」「ワンダースクールチャレンジ25」「野外で英語」はいかがでしょう？ もしくは、雨の森をゆっくり歩くだけでもたくさんの発見があります。普段見られないカタツムリが道に出てきていますし、虫たちは葉っぱの裏に隠れて過ごしています。自然界は恵の雨に大喜びです。極端にいうと、雨を見ているだけでもいいかもしれません。そんな時間は今までなかったのではないのでしょうか。それでも、という時や雷などの心配がある時（それはそれで雷を見るだけでも貴重な経験ですが）は「ヒグマと北海道の環境」と題してビデオを見ながらのお話も用意しています。（室内での時間を短くするために、30分程度を予定しています。）